

『CSW』

CSW63参加者（JAWW若者支援）

三澤 里奈（みさわ りな）



自己紹介

CSWへの参加動機

- 台東区男女平等参画プラザ登録団体
サークルやまとことば主催
外国人のための日本語教室
生活相談支援を行う
- 男女平等参画に貢献するために
どのような活動が必要か？
市民社会、プライベートセクターが
社会変革に協力するためには、
何をすればいいのか？



CSWへの参加準備 現地滞在を有意義にするために

準備として行ったこと

JAWW主催の勉強会に参加し、ゼロ・ドラフトを読みこむ
会期中に行われるイベントの中から、自分の関心事と関連するものをピックアップする
日本の達成状況や数値を調べておく

もっとやっておけば良かったと思うこと

自分の活動の振り返り

北京行動綱領第4回世界女性会議 北京宣言及び行動綱領を知る

CSWで学んだこと

- 「社会保障はチャリティではなく、権利」という言葉
- 弱者救済に、優先順位はない
- 市民社会の政府への働きかけの重要性

UN Women ムランボ・ヌクカ事務局長
からの励ましのメッセージ

Who judges you are young or not?

That's yourself. Believe in yourself.

I am 63 years old, but I think I am still “youth”.



帰国後の取り組み CSWをどのように活かしているか

- NWE C 2019年度「男女共同参画推進フォーラム」
「若者が見てきた世界」にスピーカーとして登壇
- ジェンダー平等に関するイベントの参加と共有
ボランティア授業での取り組み
- 2019年台東区男女平等フォーラム（9月28日、29日）
「移民」という呼称は使わず「外国人労働者」と呼び続け、
インバウンドツーリズムのみをフォーカスし続ける政府への抗議の意味を込めて
生まれた団体であることを再認識する



ご清聴有難うございました